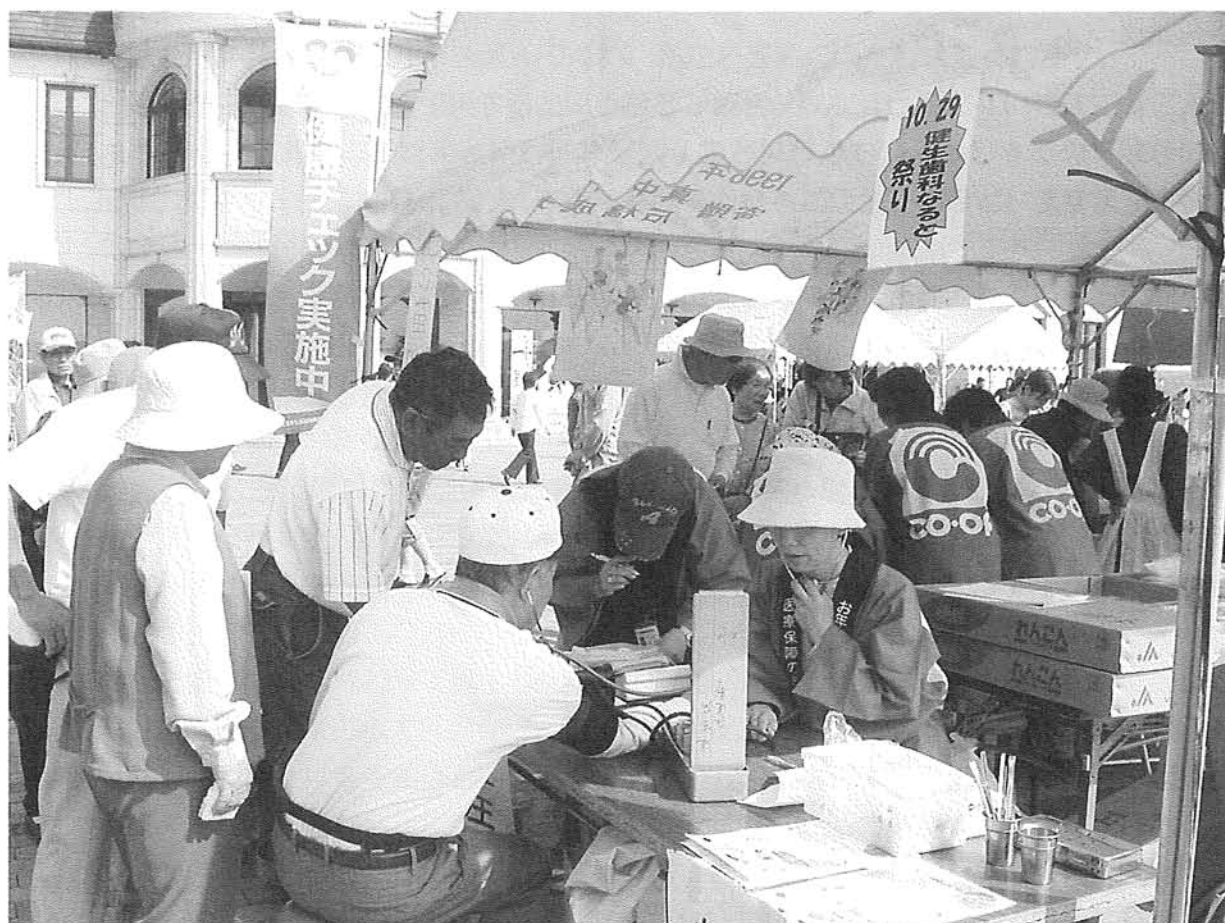


県生協連 NEWS

- 発行：徳島県生活協同組合連合会 ●発行日 2008年1月31日 (N012)
- 住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内 30-3 ●電話、FAX：088-698-3910
- HP：<http://kenren.jccu.coop/tokushima/>



徳島健康生活協同組合が実施している青空健康チェックの風景

目次

表紙 (健康生協)

1p 新年のごあいさつ (阿部和代会長)

2p 「防災だよ！ファミリー運動会」

3p 会員報告 (徳島県学校生協、徳島県職員生協)

4p (徳島大学生協、徳島健康生協)

5p (コープ自然派徳島、とくしま生協)

6p (牟岐東漁協)



新年のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会

会長 阿部 和代

あけましておめでとうございます。

年明けは何はともあれ新鮮な気持ちを運んでくれ、私たちを前に向かわせてくれます。

昨年は、史上最高気温を各地で更新するという猛暑が続き、秋がほとんどないままに冬に入ってしまったような状態であれよあれよと新しい年を迎えたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。毎年、異常気象と言われますが、昨年は徳島でも竜巻が発生するなど、ますます影響が大きくなっているように思われます。

そのような中で昨年、上勝町でたいせつな山や森、田を守るために活動されている方のお話をうかがう機会がありました。山を再生させるために、その地で育った木の実から苗を育て植林をしていくという何十年という先を見通した活動を生き生きとされていて、その暮らしを大いに楽しんでいる姿に大きな希望をいただきました。

昨年は消費者にとっては消費者団体訴訟制度がスタートするなど法律や制度が整備されるという前進もありましたが、一方であいつく食品偽装や外国語学校の契約・解約のトラブル、またジェットコースターやエスカレーターによる重大事故など安心安全が脅かされる事件があいつぎました。

突然退陣した安倍内閣に代わって誕生した福田内閣は「新テロ特措法」成立を意図して強引に国会を延長し、来年度予算案の中で社会保障、教育、雇用促進にかかわる分野で国庫負担を減らす一方で年金保険料の引き上げをするなど、暮らしに暖かい政治とは程遠いものがあります。国税庁の調べでサラリーマンの給与が9年連続で減少する中、昨年からは原油の高騰や穀物不足を理由とした値上げがあいつぎ、私たちの暮らしを直撃しています。昨年、ワーキングプアが大きな問題としてとりあげられ、生活保護が受けられず、「おにぎりが食いたい」の一行を残して餓死した北九州の男性のことが私たちの胸につきさりました。

今年は改正生協法の施行の年でもあり、私たち生協が時代の求める姿へと大きく成長していくことが求められています。

一本、一本、木を育てながら未来の絵をしっかりと描いている上勝で出会った人々のように私たちも地域のさまざまな組織や人々と手を携えて徳島のくらしづくりの先に希望の灯を灯していきたいと思えます。

どうか、本年もよろしく願い申し上げます。



徳島県生活協同組合連合会

防災だよ！ファミリー運動会

春休みの一日、楽しくゲームをしながら
みんなで防災の事を考えてみましょう。

日時 3月31日(月) 10:30~12:30
 場所 障害者交流プラザ 南矢三町2丁目
 募集人数 100名：但し子どもさんだけの参加はご遠慮ください。
 参加費 無料
 〆切 3月14日(金)

☆ 応募者多数の場合は抽選して、全員の方に連絡します。

どなたでも
参加できます

プログラム

開会式
 ラジオ体操
 バケツで風船・・・バケツに水風船を入れ2人ペアで運ぶ
 ツツパレ、ころがれ・・・2人ペアでボールころがし
 コアラちゃん落ちないで・・・親子、家族をおぶったりリレー
 防災のおはなし
 さぁ逃げろ・くぐってころりん・・・平均台→マット→バケツ
 なげて、はいってお願い・・・玉入れ
 阿波おどり体操
 閉会式



参加賞があります

連絡先 徳島県生協連 TEL 088-698-0505

きりとり

防災だよ！ファミリー運動会 申し込み書



氏名 _____ 年齢 _____

徳島県生協連

氏名 _____ 年齢 _____

電話 _____

☆ この申込書は今回の行事以外には使いません。
 ☆ キャンセルの時は必ず連絡してください。

会員年頭のあいさつ・近況報告

徳島県学校生活協同組合

〒770-0874 徳島市南沖洲5丁目7-65
TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332
●理事長 久保 修 ●常務理事 山下 敏光
●組合員数 8,248人 ●事業高 3.4億円

「今、本質を見ぬく眼力が必要」

年金の記入漏れの問題で総理大臣の不適當・不用意な発言が内閣支持率を押し下げた。

この問題がいかに大きな国民の関心事であるかがわかる。確かに、記入漏れを追跡し、確定し、最後の一人まで年金を支払うようにすることは大切なことであることは間違いない。

しかし、国民は問題の本質・何が最も大切なのかを見抜く必要がある。そして、世論を巻き起こし、政治・行政に働きかけ、選挙で意志を表明するものである。

今現在の自分たちの生活はもちろん大切であるが、子や孫の世代まで責任をもつ、あるいはそこまで見通して考えることが必要である。今を生きる人間は未来に対して責任をもち、それを行動で示すのは先人としての当然の努めである。もし、その視点が欠落すれば、我が国の未来はない。

私は年金問題で一番のポイントは将来にわたって今の支給水準を維持できる体制をつくることであると考えている。

しかし、今の状況を考えればこのことを保証することは至難の業である。770兆円という途方もない赤字国債の残高をどうするのか。今なお赤字国債を発行は国の予算の30%を占め、その残高は雪ダルマ式に増え続けている。一刻の猶予も許されない。後世の世代に大きなつけを残すことは許されるはずがない。これでは、今の年金の水準を維持できないどころか、年金そのものが破綻することは目に見えている。いや、国そのものが破綻してしまう。特殊法人の統廃合は遅々として進まない。道州制の導入しかりである。

無駄遣いを徹底的になくし、財政健全化に向けての制度改革を迅速に進めることなくして、消費税の増税を国民は絶対に認めないだろう。

スピード感のある徹底した行財政改革こそ今まさに求められている。後世に責任をもつためには、国民は今少々の痛みを受けることや我慢することはやむを得ないと考えなければならない。しかし、国と自治体が経費の切り詰めに徹底して行うことがその前提条件となる。今、一番大切な緊急の課題は何なのかを政治家は国民に真剣・正直に説明する義務と責任がある。本質を見失えば滅亡への道を歩くことにもなりかねない。今まさに国、そして、国民は正念場にさしかかっていると認識しなければならぬ。

(理事長 久保 修)

徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)
TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170
●組合長 真木 和茂 ●専務理事 河野 征三
●組合員数 4,320人 ●事業高 5.06億円

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

県庁生協は、「良い品を安く」をモットーに、より多くの組合員が気軽に便利に利用できるよう、組合員の意見・要望などを取り入れながら組合員の立場に立った運営を心がけています。

昨年は、不採算部門である本庁の喫茶及び美波・阿南両庁舎の売店を廃止し、経営の合理化を図ったところでございます。

また、損害保険の代理店業務を行うための定款訂正や本庁の食堂のメニューの改善を実施いたしました。

本年におきましては、組合員が生協に対して真に要求しているものの把握に努め、組合員の福利厚生面の充実により一層寄与できる体制を整備して参りたいと考えております。

皆様方が県庁へお越しの節には、ぜひ生協の売店や食堂にお立ち寄りいただけますようお願い申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

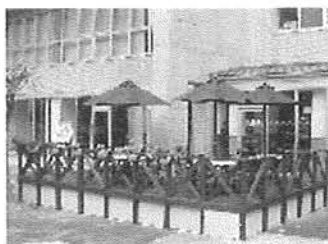
(専務理事 河野 征三)

徳島大学生協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1
TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811
●理事長 桑折 範彦 ●専務理事 清水 麻理子
●組合員 10,673人 ●事業高 13.3億円
<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/tokushima-shop1/page2.htm>

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

昨年6月に今年春に、蔵本キャンパスに新店舗「カフェテリア KURA-LA (くらら)」がオープンしました。これまで蔵本地区には売店しかなく、食の提供は、お弁当やパン等の提供だけで、十分な食事を提供できない状況が創立以来、続いていました。小さい店舗ながら、朝食から夕食まで提供し、ホッと一息できるくつろぎ空間として、毎日500~700人の方にご利用いただいています。また教職員の方からは、学会や研究会後の懇親会としてご利用いただくことも増えてきました。今後も末永く組合員に愛される店にしていきたいと思ひます。



2007年11月に創立20周年記念式典を行いました。学長はじめ大学役員全員に御臨席賜り、生協への期待と果たすべき役割について再認識しました。

(専務理事 清水 麻理子)

徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9
TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058
●理事長 岡島 文男 ●専務理事 奈賀 俊文
●組合員 37,593人 ●事業高 39.3億円
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/h-coop-t/>

こんにちは！徳島健康生協です。

徳島健康生協は、1961年8月創立。以来ずっとみんなが出資金を出し合い、組合員を増やして、徳島健生病院をはじめ訪問介護やヘルパー事業などに取り組んでいます。

「丈夫で長生きしたい」は誰もが願うこと。徳島健康生協はそのお手伝いをします。班で地域で手軽にできる健康チェック(血圧・尿検査・塩分チェック・体脂肪・いろいろな健康体操など)をしながら医療の専門家と住民が手を取り合って、「安心して暮らせるまちづくり」をめざしています。

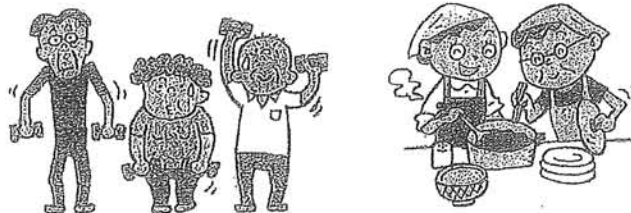
みんなでいっしょに健康づくり

あなたも お友達やご近所の方をおさそいして班会をしませんか。

ご近所やお友達で組合員が3人以上集まれば班ができます。

医療生協の班会では血圧チェック・尿チェックなどをおこないながら、いろんなメニューで生活習慣病やくらしの見直しについて学習しています。また、筋力アップの体操や、ウォーキング、調理実習などもおこなっています。

現在、県下でたくさんさんの班が健康づくりをすすめる班会を開催中です。



お問い合わせは健康づくり事業部
電話088(652-7283)

生活協同組合コープ自然派徳島

〒771-0135 徳島市川内町平石若松 204-6
TEL 088-665-8181 FAX 088-665-8182
Eメール fureai@shizenha.co.jp
ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 環 滋子 ●専務理事 岸 健二
●組合員数 9,585人 ●事業高 11.4億円

地球温暖化問題の本質は、水と食料の危機、そして生物多様性の危機にあると思います。2020年代には、水と食料不足により数~20億人の環境難民が発生し、2050年代には生物種の30%が絶滅するとのシミュレーションがあります。これは昨年、国連が発表したことです。

今、コープ自然派では、「田んぼの生きもの調査」「有機農業の推進」「まちに森をつくる」を3本柱として位置づけ、活動を進めています。これらの活動を推し進めることで地球温暖化を少しでも解決の道へとつなげようと考えています。

農薬のおかげで田んぼの生きものは、すっかり減少して、それをエサにしている野鳥なども激減しました。「田んぼの生きもの調査」は、かつての田んぼを復活させ、豊かな生態系を取り戻す活動です。小松島市で、ナベツルの飛来を有機農業者と一緒に考えることになりました。

「有機農業の推進」は、有機農業推進法（2006年12月）が成立して以来、昨年7月に徳島有機農業を育てる会が発足しました。有機農業者をはじめ、加工・流通・環境・学校・消費者などのネットワークができました。その中から2つのモデルタウン構想が持ち上がっています（モデルタウンは、農水省が全国50箇所に設置する方向で進めています）。

「まちに森をつくる」は、健康な木の家をつくることで、まちに森をつくり、森林を再生しようという取り組みです。

世界中で森林破壊が進んでいます。日本では、連動して、山に手が入らず、森の荒廃が非常に深刻なものとなっています（日本の木材自給率は20%）。地球温暖化対策（日本は京都議定書で1990年比6%削減義務がある）として、政府は森林の二酸化炭素の吸収を3.8%と見込んでいます（しかしその実効性は疑わしい）。

6%削減を達成するためには、もっと森林の二酸化炭素の吸収能力を高める必要があり、そのためには、国産材を使った家などを普及させ、まちに森をつくり、森林再生する必要があります。

2008年は、これらの活動をもっと推し進めることで飛躍の年となるようにしたいと考えています。本年もよろしくお願いいたします。

（専務理事 岸 健二）

生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 板野郡北島町中村字東堤ノ内 30-3
TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872
Eメール webmaster@tokushimaseikyoku.or.jp
ホームページ <http://www.tokushimaseikyoku.or.jp>

●理事長 阿部 和代 ●専務理事 原田 正一
●組合員 98,531人 ●事業高 105.6億円

とくしま生協は、2008年度から次期中期計画の策定準備をしています。今後3年で実行する施策を通して、組合員のくらしや安全・安心を守る活動を推進し、消費者組織として、地域社会への貢献を果たしていきたいと思っています。

具体的には、徳島県内の生産地見学や徳島県産品を使った料理教室など、生産者と消費者が交流できる機会を増やしていきたいと考えています。食の分野では、原材料や表示偽装の事件が相次ぎ、不安が高まっています。現在すすめている「地産地消」の取り組みを更に強化し、気軽に産地や工場が見学でき、お互いの考えを伝え合える、といった顔の見える関係を築きたいと思っています。組合員が安心して使える、自信を持って友人にすすめることができる、そんな商品を増やしていきます。

地球温暖化防止のための環境対策も推進します。2007年3月、徳島県の小売業としては初めて、ISO14001規格の認証を全事業所で取得しました。節電やエコドライブの実践、廃棄物を減らす仕事の工夫、省エネ機器の導入などに取り組み、着実に成果が現れてきました。今後は、更に、環境配慮商品の普及や買い物袋持参運動など環境保全を推進する活動を積極的にすすめます。また、徳島県は高齢化が進行している地域です。とくしま生協は、毎週個人のお宅に商品をお届けしており、この中には一人暮らしのお年寄りも多くいらっしゃいます。1週間に一度、同じ担当者がお伺いするわけですから、何かお役に立てることはないか？これも具体的に検討していかなければならない課題です。生協は、助け合いの組織ですから、「おたがいさま」の気持ちをカタチにして地域社会に貢献できるととくしま生協にしていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（常勤理事 大久保 秀幸）

牟岐東漁業協同組合

〒775-0012 海部郡牟岐町大字牟岐浦字宮の本 268-4

TEL 0884-72-1141 FAX 0884-72-1140

Eメール marugin@nmt.ne.jp

● 組合長理事 井元 健二

● 組合員数 202人 ● 事業高 1.9億円

その1 マンモス水族館にまけないぞ!!

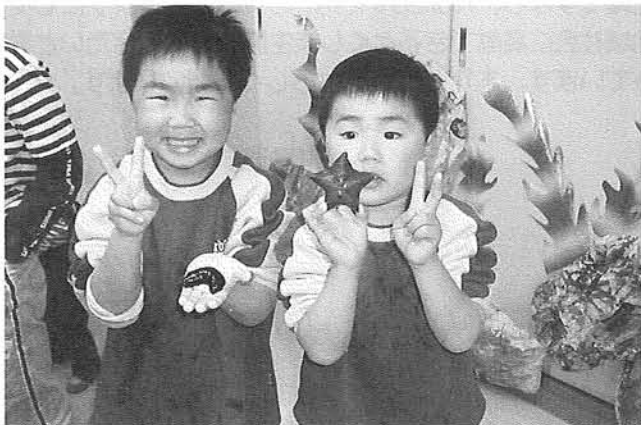
もともと意地っ張りなんです。どうせつくるなら子ども達に“アッチよりココの水族館の方が面白い”こう言わせたい、こんな無茶苦茶な目標をたてました。

これが漁師さんの水族館誕生のキッカケです。幸いなことに私たちのグループにはこの道のプロがいたので安心感もあったのです。ところが、いざ立ち上げるとなると、ないわ、ないわ、なんにもないわです。勿論お金もありません。でもやると決めた以上は、せめて水槽の3つや4つはないと恥ずかしい。先ずこれから手をつけることになりました。水槽の次は魚ですが、こちらは漁師さんに頼み込めばなんとかなると腹をくくり、とにかくオープンを目指してみんなががんばりました。

そして平成16年7月19日海の記念日に世界一小さな水族館が誕生したのです。

その2 目を閉じれば見えてくる宝物

ないないづくしから出発したのですが実は、逆でした。見る眼がなかったのです。たとえば水槽です。どっかの立派なものが頭に浮かび離れないのです。一方、私たちはそれ以上、面白くてしかも超安価で仕上げなければなりません。一体そんなものがあるのだろうか？しばし沈黙でした。でも、あったのです。これならとてつもなく大きくて面白くて無限に広がる可能性があるかと直感しました。



タッチングプールです。見る面白さと触る面白さを加えたら子ども達はどんな感情を表すだろうか・・・。

目を閉じて想像してみたのです。そうすると見えてきたのです。家族との会話、友達との会話、指導員との会話、みんなイキイキしている姿が映りました。そして、失われようとしている感動があったのです。こうして誕生したタッチングプールは年数回、県内外に出かけ、かなりの評価をいただくようになりました。



その3 サムマネーと希望

たしか有名なチャップリンの「踊子」のワンシーンだったと記憶しております。

『人生で大事なものはなんですか』こう聞かれて、このように答えました。重みのある言葉だと思いませんか・・・こんな古くさい考えに対し、『一番大事なものは命ですよ、二番目はお金に決まっているじゃないですか』今の世の中、希望という字や夢という言葉が消えそうな現実ですから、こう言われそうな気がします。心を鬼にして『協同組合で一番大事なものはなんですか』こう置き換えてみます。サムマネーはさしあたり必要最小限のお金です。次に希望です。どうなのでしょう。あるのでしょうか。残念ですが私どもの現場でも合併という名の元に、弱者切り捨て、希望切り捨ての傾向が強いのです。誤解を恐れず言わせてもらえば協同組合の魂までお金で買えるかのような気配を感じて仕方ありません。強くなければ生きていけないことは確かです。しかし、魂まで売り渡して果たして生きていく価値があるのでしょうか。協同組合の真価が問われているのです。

(組合長 井元 健二)